

# CSR Report 環境パフォーマンス 2023

Environment performance

シーレックスグループは、“かけがえのない地球”の環境と資源を健全な状態で次世代へ引き継ぐことは私たちの責務とし、環境と調和した循環型社会を目指し、グループ全体が共通認識のもと環境保全活動を推進しています。



## 環境保護体制の推進

シーレックスは、1999年に環境マネジメントシステム（ISO14001:EMS）の認証を取得して以来、環境保全活動を重要なテーマとして取り組んでいます。グループ会社を含めた10事業所でCO2の削減や産業廃棄物の削減、使用禁止化学物質の管理など、環境に影響を及ぼす側面の改善に取り組

んでいます。また、これまでに比べゴミが少ないラベルや地球環境にやさしい材料を使用したラベルなどの環境配慮型製品の販売、さらに、印刷工程で揮発性有機溶剤を使用せず、CO2の排出量を削減できる水性フレキソ印刷などの技術開発を推進しています。



ISO14001  
E0308

## シーレックス環境方針

### ○ 基本理念

シーレックスは常に「かけがえのない地球」の環境と資源を健全な状態で次世代へ引き継ぐことは私たちの責任であり、義務である」を念頭におき、環境と調和した循環型社会をめざし、事業活動のあらゆる面で、環境保全に配慮し行動します。

### ○ 基本方針

1. シーレックスは事業活動において地球環境の保全を推進するため、組織を整備します。
2. 事業活動が環境に与える影響を捉え、技術的、経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定め、環境保全活動を推進し、継続的改善を図り、環境汚染の予防に努めます。
3. 環境関連の法律、規制および協定などを遵守するとともに、自主管理基準を設定し環境保全に取り組みます。
4. 事業活動の全領域で省エネルギー、省資源、リサイクル、廃棄物削減に取り組みます。
5. 環境に配慮した商品づくりおよび技術開発を行うとともに、グリーン調達を推進を図ります。
6. 環境監査を実施し、環境管理の維持向上に努めます。
7. 環境教育を実施し、全社員の環境方針の理解と、環境に関する意識向上を図ります。
8. 社会とのコミュニケーションに努め、地域社会の環境活動に、積極的に貢献します。

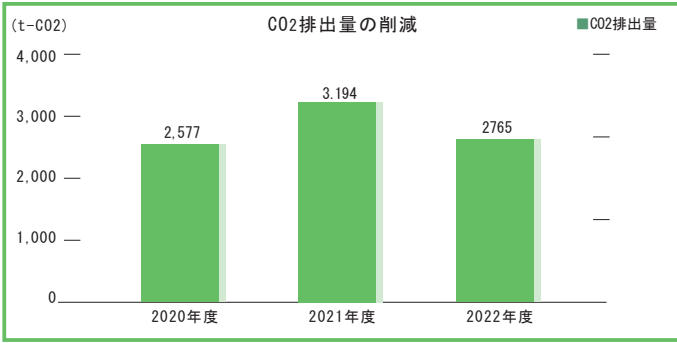
## 環境ビジョン2022年度評価

シーレックスは、環境理念を達成するために具体的な目標を立て取り組んでいます。

評価基準：

S：目標を十分に達成した A：目標を達成した B：目標が達成できなかった C：目標を大きく下回った

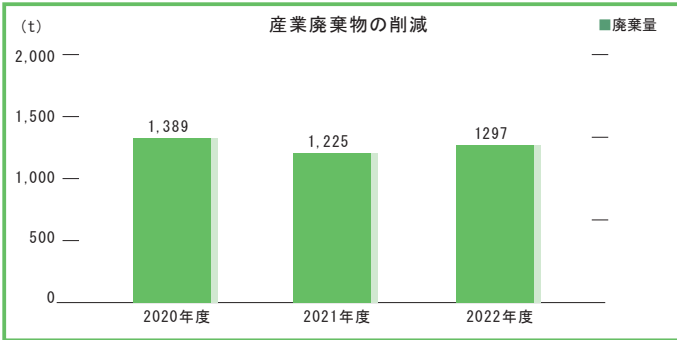
方針	目標	評価
法規制の遵守	水質検査を定期的に行い、水質基準を守る	A
	騒音・振動測定を定期的に行い、基準を守る	A
	産業廃棄物の管理を継続的に行う	A
	材料および副資材の購入において使用禁止化学物質の含有調査管理を行う	A
CO2の削減	電気消費量の削減、ガソリン消費量の削減に取り組み、CO2の削減につなげる	A
産業廃棄物の削減	産業廃棄物の排出量の削減を図る	A
リサイクル化の推進	リサイクル率 98%以上を維持する	A
省資源の推進	材料在庫の削減、在庫品の削減、再加工の削減	A
環境配慮型製品の開発	環境配慮型製品を一定目標金額以上販売し、環境に配慮した開発品に取り組み	A
グリーン購入の推進	事務用品などの購入品はグリーン購入ガイドラインに準じて行う	A



## CO2の削減

シーレックスでは、節電やガソリン消費量の削減に取り組み、CO2の削減に取り組んでいます。

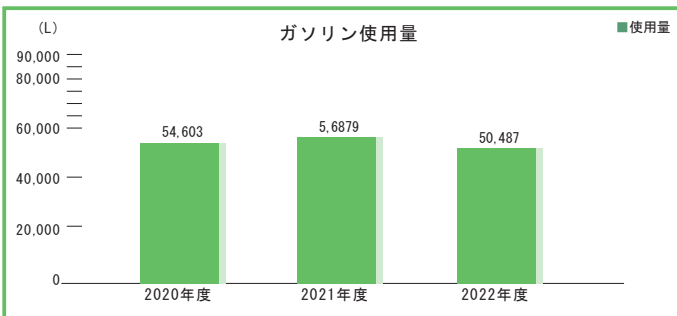
2022年度は、コロナ下での生産となり、排出量が減少に転じました。



## 産業廃棄物の削減

排出量は前年より若干少ない状況となりました。シーレックスではルールに基づき廃棄物を分別することで、産業廃棄物の削減に取り組んでいます。

分別された廃棄物は、サーマルリサイクル（固形燃料化）や再資源化が図られ、99%に近いリサイクル率を維持しています。リデュース・リユース・リサイクルの環境保全活動に取り組んでいます。



## その他リデュース

### ガソリン使用量

シーレックスでは、社有車の更新にあたり、ECO CAR（ハイブリット車など）への更新を進め、少しずつガソリン消費量の削減につながってきています。

2022年度は、コロナの影響もあり、削減となりました。

**水質検査の実施** 定期的に水質検査を実施し、水質の汚濁管理をしています。

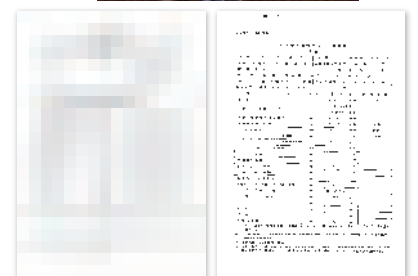
### 2021年度水質検査結果

#### <兵庫工場>

計量項目	単位	基準	結果
水素イオン濃度 (PH)	-	5.8~8.6	7.1
浮遊物質 (SS)	mg/L	130	55
化学的酸素消費量 (COD)	mg/L	100	33
生物化学的酸素消費量 (BOD)	mg/L	100	31
全リン	mg/L	16	0.03
大腸菌数	個/cm3	3,000	1,200
全窒素	mg/L	120	0.7
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	15	1
クロム	mg/L	0.35	0.02未満
フッ素化合物	mg/L	15	0.11未満

#### <東北工場>

計量項目	単位	基準	結果
水素イオン濃度 (PH)	-	5.7~8.7	7.3
浮遊物質 (SS)	mg/L	300	212.8
生物化学的酸素消費量 (BOD)	mg/L	100	45
ヨウ素消費量	mg/L	220	9.4
銅含有量	mg/L	3	-
亜鉛含有量	mg/L	5	-
溶解性鉄含有量	mg/L	10	-
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	5	0.5未満
溶解性マンガン含有量	mg/L	10	-



●水質管理報告書

# 取得認証・許認可・加入団体等

## 【国際規格】



**ISO14001**  
E0308

ISO14001:2015 (環境マネジメントシステム)



**ISO9001**  
Q3649

ISO9001:2015 (品質マネジメントシステム)



Sedex / SMETA (倫理監査)



EcoVadis  
(サステナビリティ・サプライチェーン評価)



責任ある森林管理  
のマーク

FSC®CoC 認証 (森林認証制度)

## 【国内規格】



プライバシーマーク  
JISQ15001:2017

JISQ15001:2017 (プライバシーマーク)

## 【加入団体】



C L O M A

クリーン・オーシャン・マテリアル・  
アライアンス (略称:CLOMA)



一般社団法人  
日本自動認識システム協会 (略称:JAISA)

## 【取得許認可】

建設業許可 (機械器具設置工事業)